

License Centralで、仮想アカウントに対してデバイス検証ステータスタグを更新または表示するにはどうすればよいですか。

内容

外部のお客様/パートナー様専用：これらの手順は、お客様/パートナー様が問題を解決するためのアクションを自ら実行する際に役立ちます。お客様やパートナーの指示で問題が発生した場合は、ライセンスサポート(<https://www.cisco.com/go/scm>)でサービスリクエストをオープンして解決してください。

ビデオ

このコンテンツの目的は、教育用または情報用の情報を共有することです。ビデオを見るか、以下のコンテンツを読むかを選択できます。どちらも同じ内容であるため、好きな形式で自由に操作できます。

前提条件

開始する前に、次の点を確認してください。

- アクティブなCisco.comアカウント
- Cisco License Centralにアクセスするユーザは、次のいずれかの権限を持っている必要があります。
 - スマートアカウントユーザ/管理者/ビューア
 - 仮想アカウントユーザー/管理者/ビューア

手順

ステップ1:[Cisco Software Central](#)に移動し、Cisco.comクレデンシャルでログインします。

ステップ2:Cisco License Centralセクションの下の「Access CLC」をクリックします。

ステップ3：スマートアカウントを入力するか、検索機能を使用してスマートアカウントを検索します。

ステップ4：左側のメニューバーに移動し、「デバイス」をクリックします。

ステップ5:デバイスインベントリを選択します。

ステップ6: TAG値をVALID/INVALIDに追加するには：

A.単一品目

a.画面で、TAG値をVALID/INVALIDに追加するデバイスを検索します。

- 仮想割り当てが進行中の場合、これらのデバイスのデバイス編集機能は無効になります。
- デバイスがソフトウェアのみのデバイスの場合、デバイスの編集機能は表示されますが無効になり、ポップアップホバーメッセージが表示されます。

b. settingsの列まで右にスクロールし、kebabメニュー（3ドットメニュー）をクリックして、ドロップダウンからEdit Deviceを選択します。

c. [デバイスの編集]ポップアップ画面で、次の操作を行います。

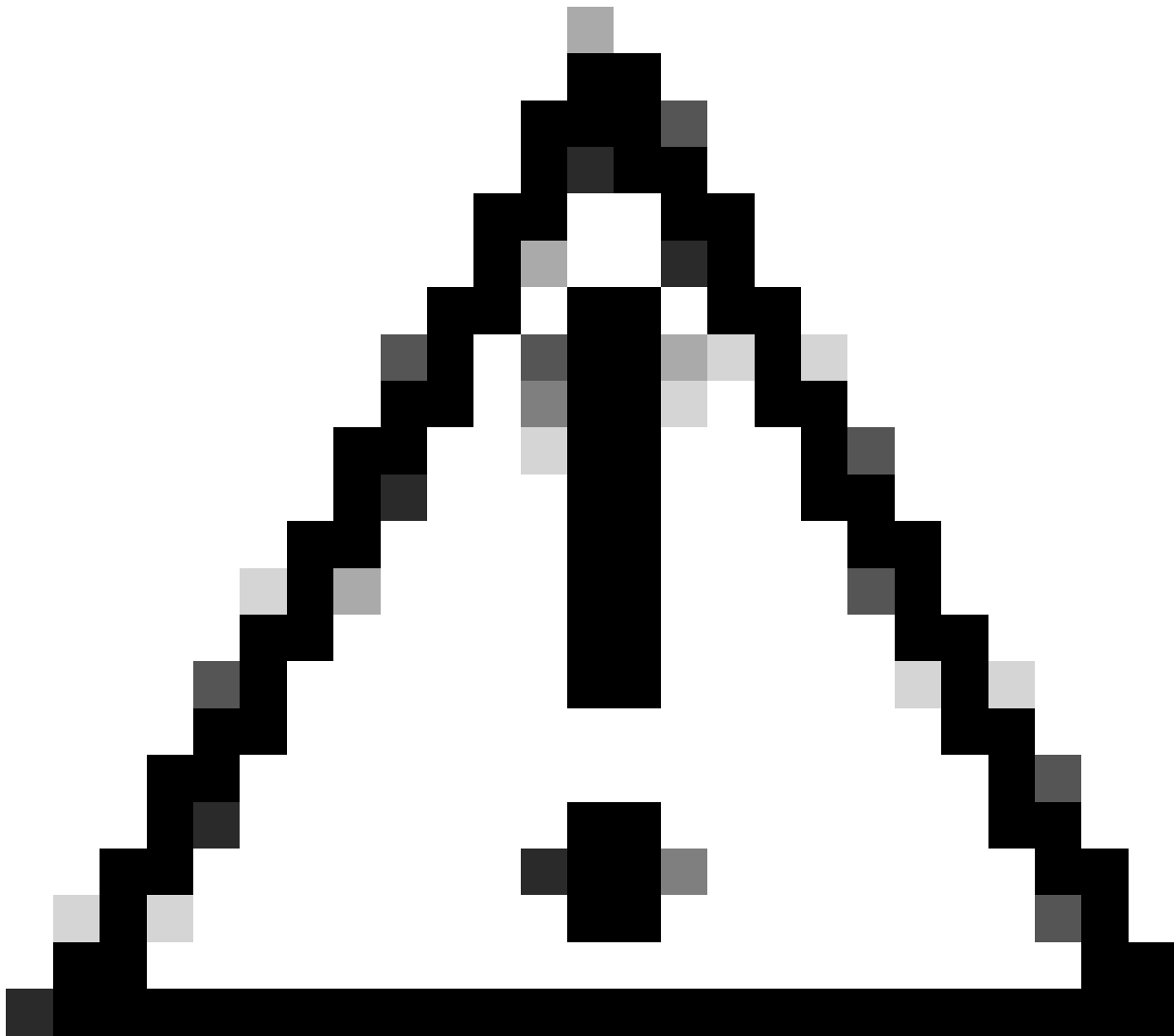
- タググループ：検証ステータス
- Action:
 - 追加/更新：製品にタグ値が関連付けられていないため、このオプションを選択します。
 - デバイスに既にタグ値（有効/無効）が割り当てられている場合、追加/更新アクションを使用してタグ値を有効/無効に更新できます。
- タグの値：
 - 有効：顧客が現品票の値を有効として検証した場合に選択します。
 - 無効：顧客がタグ値を無効として検証した場合に選択します。

d. Submitボタンが有効になっています。[Submit] をクリックします。

e. リクエストIDが表示されたリクエスト確認画面がポップアップ表示されます。

B.一括アクションの選択。

次のいずれかを選択し、[デバイスの編集]ポップアップ画面に移動します。



注意：最大1000件のレコードを一度にリアルタイムで編集できます。1000を超えるレコードが選択されている場合は、インラインKebabメニューが使用できますが、デバイス編集オプションはグレー表示になります。

a.個々のデバイスの選択：

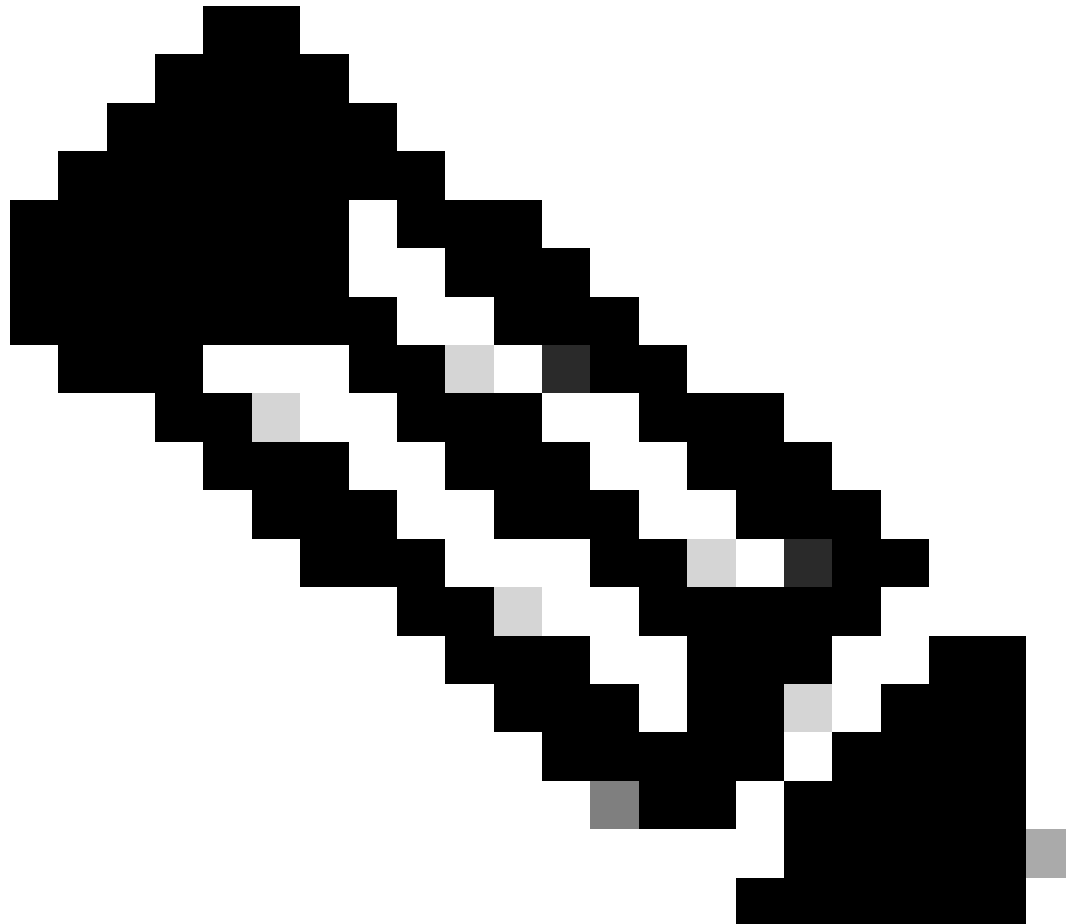
1. タグを追加する必要があるデバイスを確認します。
2. メニューバーでMore Actionsをクリックし、Edit Devicesを選択します。
3. データグリッドのポップアップウィンドウに、選択したデバイスの数が表示されます。

b.デバイス名の選択：現在のページ上のすべてを選択

1. メニューからDevice nameチェックボックスを選択します。
2. タグを追加/更新できるすべてのデバイスが選択されます。
3. メニューバーでMore Actionsをクリックし、Edit Devicesを選択します。

c.割り当てが進行中、ソフトウェアのみのデバイス除外プロセス

1. すべて選択をクリックして、すべての「デバイスの数」を選択します。
 2. これにより、「Assignment in Progress」および「Software Only Devices」以外のすべてのページのすべてのデバイスが選択されます。
 3. メニューバーでMore Actionsをクリックし、Edit Devicesを選択します。
-



注：デバイス数を選択すると、デバイス数、仮想アカウント、タググループ、およびタグ値の情報を表示できます。

d. 「デバイスの編集」ポップアップ画面で、次の操作を行います。

- タググループ：検証ステータス
- Action:
 - 追加/更新：製品に関連付けられたタグ値がないため、選択します。
 - デバイスに既にタグ値（有効/無効）が割り当てられている場合、追加/更新アクションを使用してタグ値を有効/無効に更新できます。
- タグの値：
 - 有効：顧客が現品票の値を有効として検証した場合は、「有効」を選択します。

- 無効：顧客がタグ値を「無効」と検証した場合は、「無効」を選択します。

e. 「発行」ボタンが使用可能になっている。[Submit] をクリックします。

f. Request Confirmation画面Request IDがポップアップ表示されます。

ステップ7: TAG値を削除するには、次の手順に従います。

A. 単一品目

a. TAG値を削除するデバイスを選択します。

b. settings列まで右にスクロールし、kebabメニューをクリックして、ドロップダウンからEdit Deviceを選択します。

c. [デバイスの編集]ポップアップ画面で、次の操作を行います。

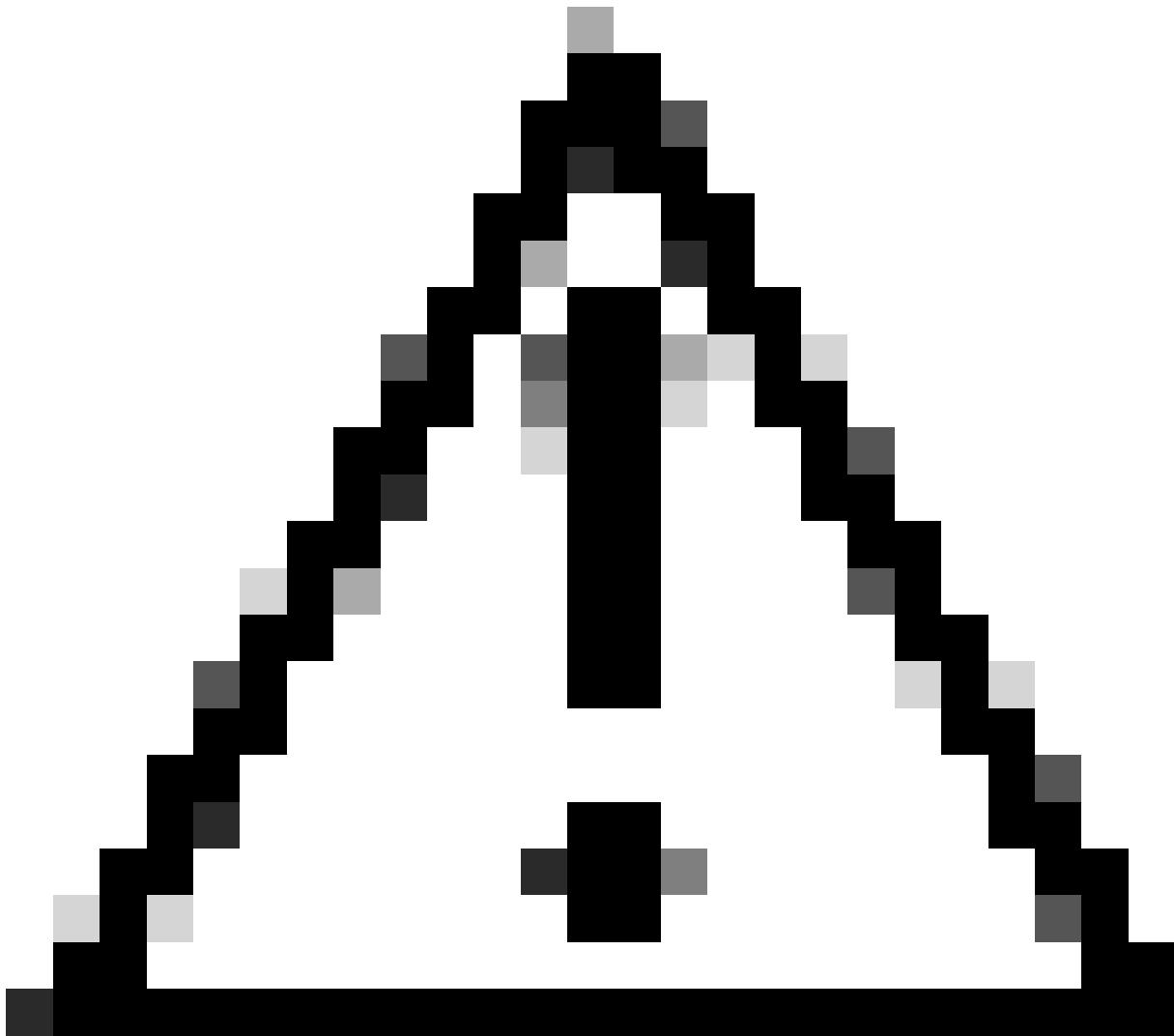
- タググループ：検証ステータス
- Action:
 - 削除：製品のタグ値を削除するため、これを選択します。
 - すでに有効または無効なタグ値を持つデバイスのタグ値を削除します。
- タグ値：アクションのドロップダウンから削除を選択すると、タグ値のドロップダウンがグレー表示になります。

d. Submitボタンが有効になっています。[Submit] をクリックします。

e. リクエストIDが表示されたリクエスト確認画面がポップアップ表示されます。

B. バルクアクションの選択。

次のいずれかを選択し、[デバイスの編集]ポップアップ画面に移動します。



注意：最大1000件のレコードを一度にリアルタイムで編集できます。1000を超えるレコードが選択されている場合は、インラインKebabメニューが使用できますが、デバイス編集オプションはグレー表示になります。

a.個々のデバイスの選択：

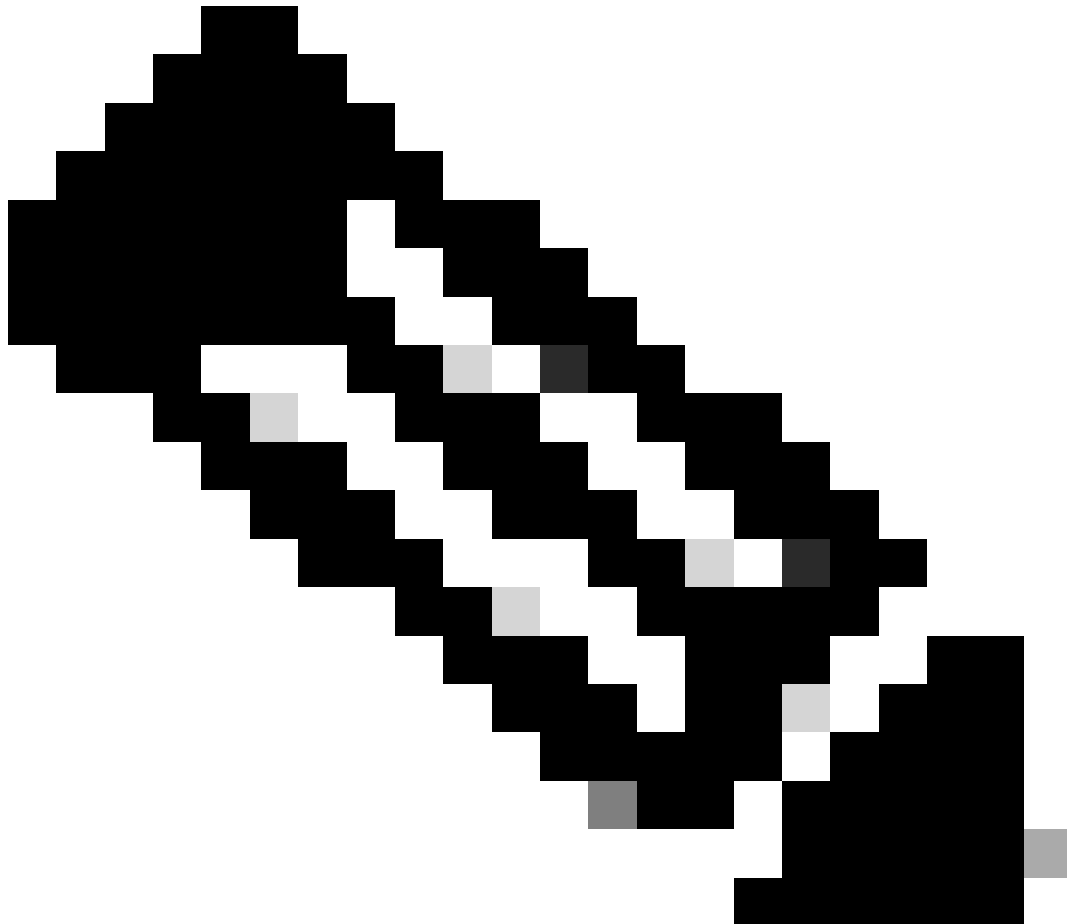
1. タグを削除する必要があるデバイスを確認します。
2. メニューバーでMore Actionsをクリックし、Edit Devicesを選択します。
3. データグリッドのポップアップウィンドウに、選択したデバイスの数が表示されます。

b.デバイス名の選択：現在のページ上のすべてを選択

1. メニューからDevice nameチェックボックスを選択します。
2. タグを削除できるすべてのデバイスが選択されます。
3. メニューバーでMore Actionsをクリックし、Edit Devicesを選択します。

c.割り当てが進行中、ソフトウェアのみのデバイス除外プロセス

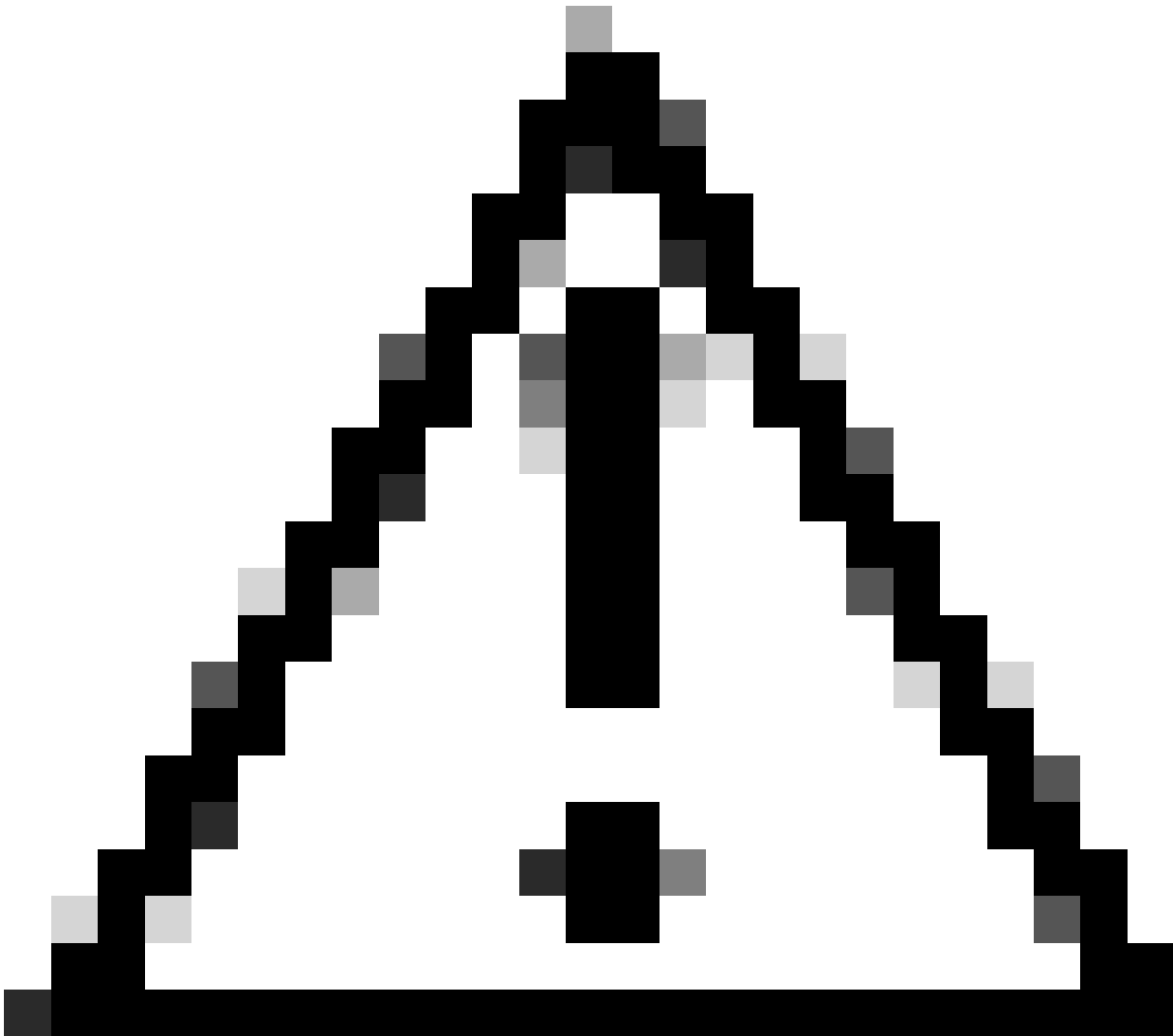
1. すべての選択をクリックして、すべての「デバイスの数」を選択します。
 2. これにより、「Assignment in Progress」および「Software Only Devices」以外のすべてのページのすべてのデバイスが選択されます。
 3. メニューバーで[More Actions]をクリックし、[Edit Devices]を選択します。
-



注：デバイス数を選択すると、デバイス数、仮想アカウント、タググループ、およびタグ値の情報を表示できます。

- d. 「デバイスの編集」ポップアップ画面で、次の操作を行います。
 - タググループ：検証ステータス
 - Action:
 - 削除：製品のタグ値を削除するため、これを選択します。
 - タグ値：アクションのドロップダウンから削除を選択すると、タグ値のドロップダウンがグレー表示になります。
- e. 「発行」ボタンが使用可能になっている。[Submit] をクリックします。

f. Request Confirmation画面Request IDがポップアップ表示されます。



注意：選択したデバイスのタグ値が有効/無効であることを確認してください。

ステップ8：デバイスを編集するには、次の手順に従います。

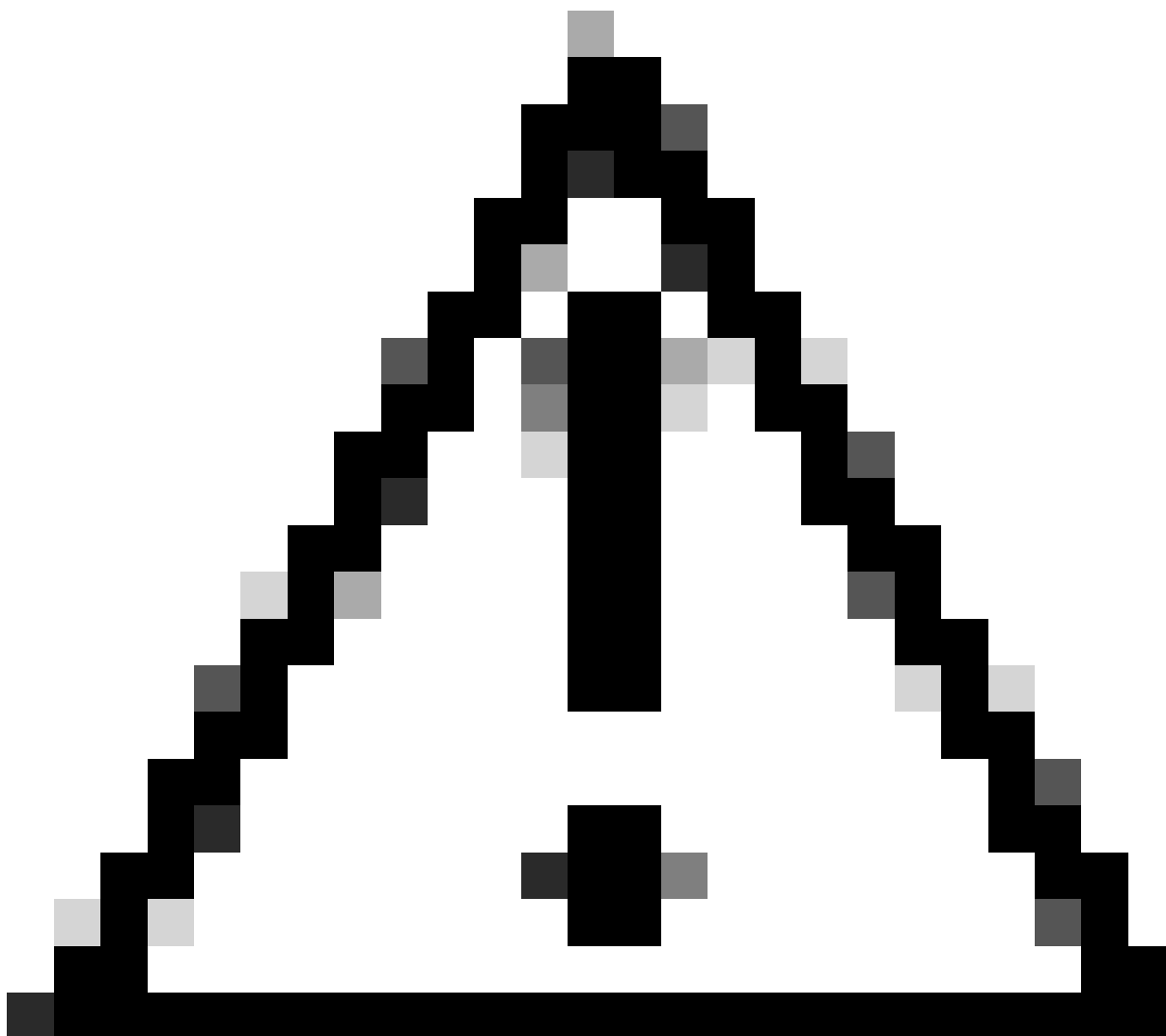
- a. デバイスを選択し、メニューバーからExport Selectedを選択します。
- b. Download fileセクションの下で、次のコマンドを実行します。
 - 最大100,000のレコードが選択されている場合は、Nowオプションを選択すると、
 - 100,000件を超えるレコードが選択されている場合、[後でのみ（イベントログでダウンロード可能になったときに電子メールが届きます）]オプションを使用できます。
- c. ポップアップウィンドウで、Exportを選択してファイルからデバイスレコードを編集し、Exportをクリックします。

d. エクスポートの手順には、ファイルのエクスポートに関するガイダンスが記載されています。

e. ユーザはダウンロードしたExcelファイルのACTION列を編集できます。

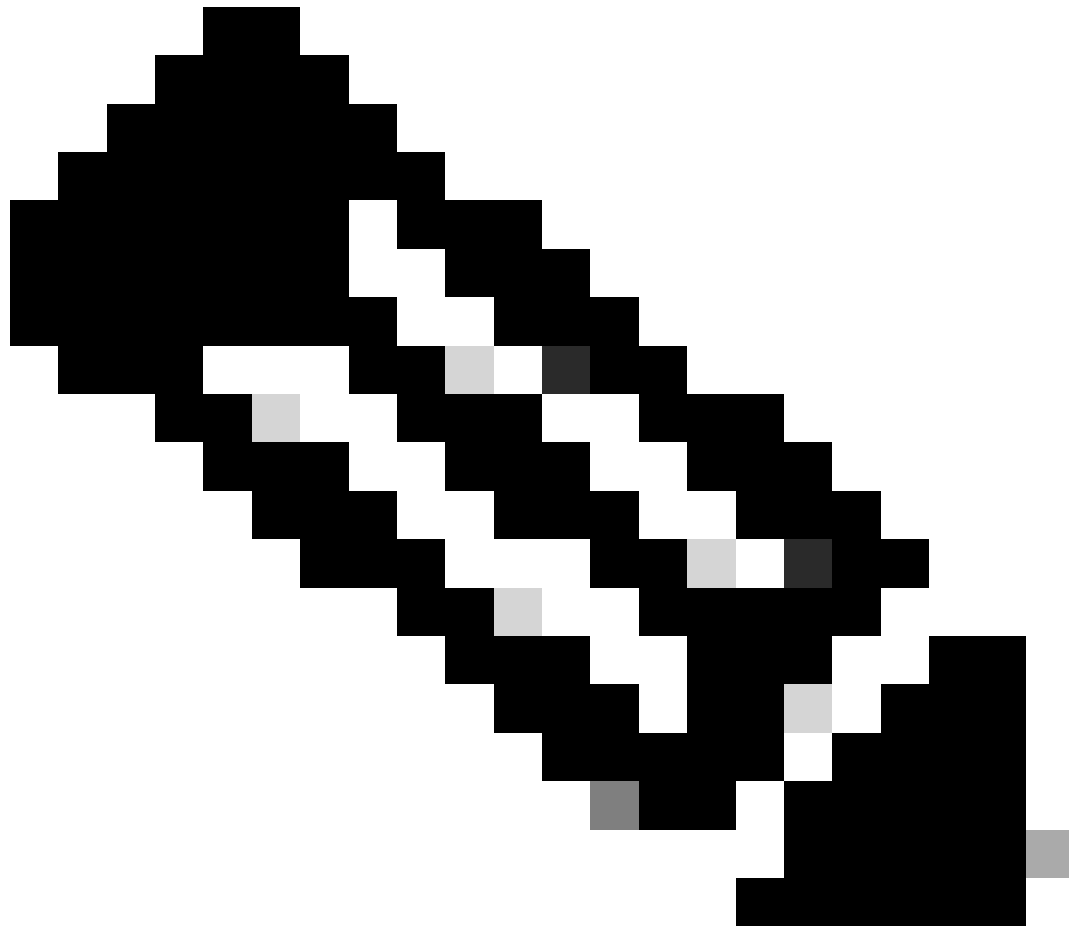
f. 右上隅からEdit devices from XLSXを選択し、Edited fileを選択します。

ステップ9：左側のメニューバーに移動し、イベントログを選択します。最新のイベントタイプと詳細は、タグ検証の詳細を確認します。



注意：

- 一括アクション選択用のイベントログは1つだけです。
 - 生成される要求IDは1つですが、複数のエントリがあります。
 - 各デバイスに複数のVAが関連付けられている場合、複数のエントリが生成されます。
 - 「Coverage Status」列には、割り当てられたアクションが完了するまで「Assignment in Progress」が表示されます。
-



注：社内ユーザは、ライセンスサポートチームに対してケースを開き、License Centralの注文に関するカスタマービューの問題を解決する必要があります。シスコのサポートロールを持つ内部ユーザに対しては、「注文」タブからの未承認のトランザクションを制限するチェックは行われません。

トラブルシューティング：

このプロセスで対処できない問題が発生した場合、ソフトウェアライセンスオプションを使用して[Support Case Manager\(SCM\)](#)でライセンスケースをオープンしてください。

このドキュメントの内容についてのご意見は、[ここ](#)を参照してください。

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。